

テーマ

アステラス製薬株式会社による

「未来のために！“ドラッグロス”解消に向けた『医療のエコ活動』による社会貢献活動」

国の課題ともいえるテーマに 皆で挑戦した貴重な体験で 自ら考え、動く力がつきました

問題解決力やコミュニケーション力を伸ばすとともに、社会で活躍する企業や団体が、直面する課題に対してどのように考え行動するのかを学びたいと思い、3年次に参加しました。20のテーマの中から、アステラス製薬株式会社を選んだのは、アルバイト先のドラッグストアで得た知識を活かせる可能性も考えたからです。

日本経済の今後に関わる非常に社会性の高いテーマでした。国では少子高齢化による社会保障費増大を抑制するため医療費削減を進めています。そのため海外の薬が承認されない、国内でも新薬がつかれない状況がドラッグロスです。このままでは国民の健康悪化から経済成長力低下、さらなる医療費増大という悪循環を招きます。医療費を抑えつつ、必要な薬が必要な人に届く形になるよう、啓蒙活動が必要です。

そこで私たちは、高校で出張授業を行って若い世代にこの問題を知ってもらい、集めた意見を政府に伝えようと考えました。母校への交渉、資料や台本づくりなど悩みながらの進行でしたが、企業の担当者からは常に適切なアドバイスをいただき、結果として多くの手応えを感じるとも良い経験になりました。学年も学科も違うメンバー8人で活動する中、主体的に動ける力や社会人としての心構えも確実に身についたと感じています。



商学部
マーケティング学科3年
飛永 悠貴さん
東京・
専修大学附属高校出身

REPORT

これからの社会を支える高校生に ドラッグロス問題の出張授業を

5月 キックオフミーティングでドラッグロス問題を学ぶ

メンバー8人が初顔合わせ。企業の担当者からは、日本の社会保障や少子高齢化、新薬開発、ドラッグロスの問題について教わりました。

6~7月 各自で知識を習得しつつ オンラインミーティングでアイデア出し

医療資源のエコな活用などについて調べ、毎週ミーティング。7月上旬に出張授業の方針が決まり、授業構成や依頼する高校の検討へ。

8月 出張授業先が決定し資料作成や授業リハを重ねる

メンバーの母校に交渉し、3校が快諾！資料や台本は企業側に添削いただき、リハーサルでのアドバイスも。この社会的課題に対し、若者たちの意見を政府に提出するのがゴールだと再確認。



10~11月 北海道・神奈川・東京で出張授業 真剣に意見を出してくれる生徒たちに感激！

10月初めには武蔵小杉駅前（川崎市）のイベントでアステラス製薬のお手伝い。10月30日には札幌静修高校で初授業に臨みました。生徒たちも積極的で手応え十分！11月は川崎市の橘高校と、専修大学附属高校でも授業。

12月 20テーマの成果発表会で活動を報告

橘高校での2度目の授業を終え、500人の高校生の意見を集約。「重要な問題と思う」との声も多く聞かれました。報告会の資料はアステラス製薬と共有し、国への意見書に役立ててもらいます。

